

2023年3月期
第2四半期決算説明資料

TOYO
東洋機械金属株式会社

2022年10月26日

証券コード
6210

インデックス

1. 2023年3月期 第2四半期業績概要	2
2. 2023年3月期 通期業績予想	8
3. トピックス	15
4. <Appendix>	19

2023年3月期 第2四半期業績概要

2023年3月期 第2四半期経営成績

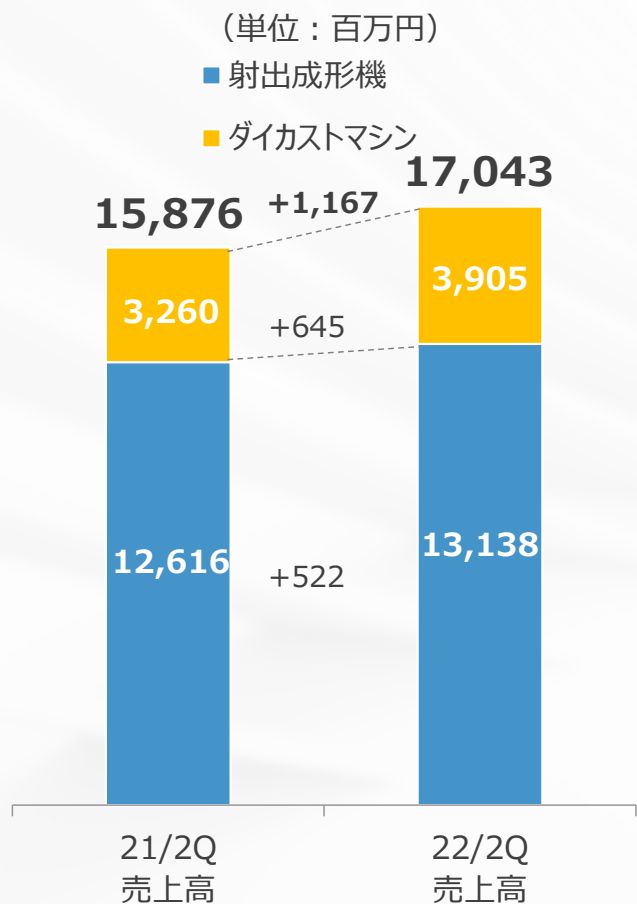
売上は自動車、生活用品関連向けに増加したものの、
利益は部材の仕入価格高騰や長納期化に伴う生産効率の悪化により減少

項目 (単位：百万円)	2021/2Q 実績	2022/2Q 実績	前期比 増減	前期比 増減率	2022/2Q 予想	計画比 増減
受注高	17,941	18,004	+63	+0.3%	17,500	+504
売上高	15,876	17,043	+1,167	+7.3%	16,750	+293
営業利益	718	660	△58	△8.0%	925	△265
営業利益率	4.5%	3.9%	△0.6P	—	5.5%	△1.6P
経常利益	801	781	△20	△2.5%	1,000	△219
親会社株主に帰 属する四半期純 利益	449	429	△20	△4.3%	650	△221
1株当たり四半期 純利益	21.86円	20.94円	△0.92円	—	31.69円	△10.75円
<参考> 為替レート(USD)	112円	145円	+33円	—	120円	+25円

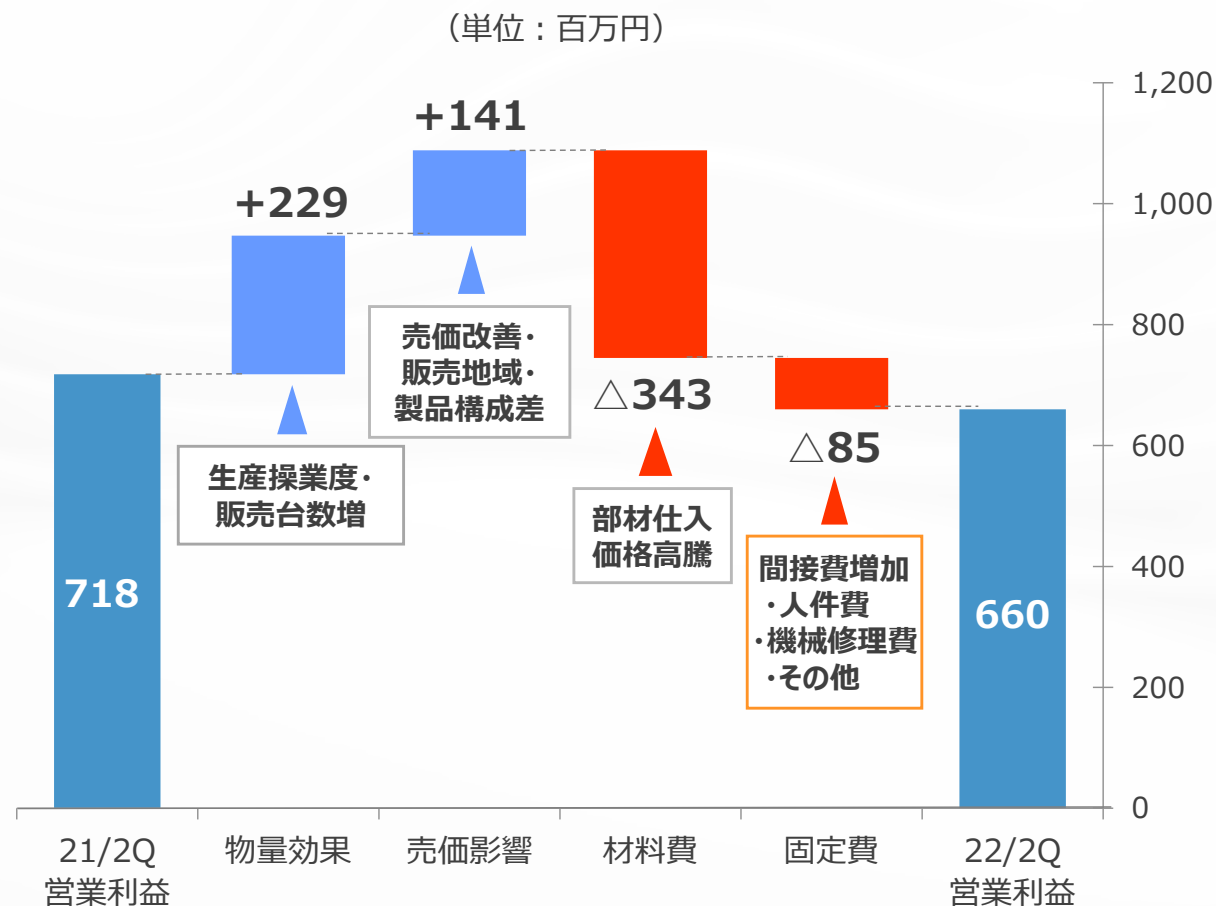
売上高・営業利益の増減要因分析

売上高は、射出成形機及びダイカストマシン共に増加したものの、
営業利益は、部材仕入価格の高騰が影響し、6億円（前期比△1億円）となる

売上高



営業利益増減要因分析



製品別受注高・売上高・受注残高

受注高は180億円（前期比+1億円）、受注残高は140億円（前期比+18億円）

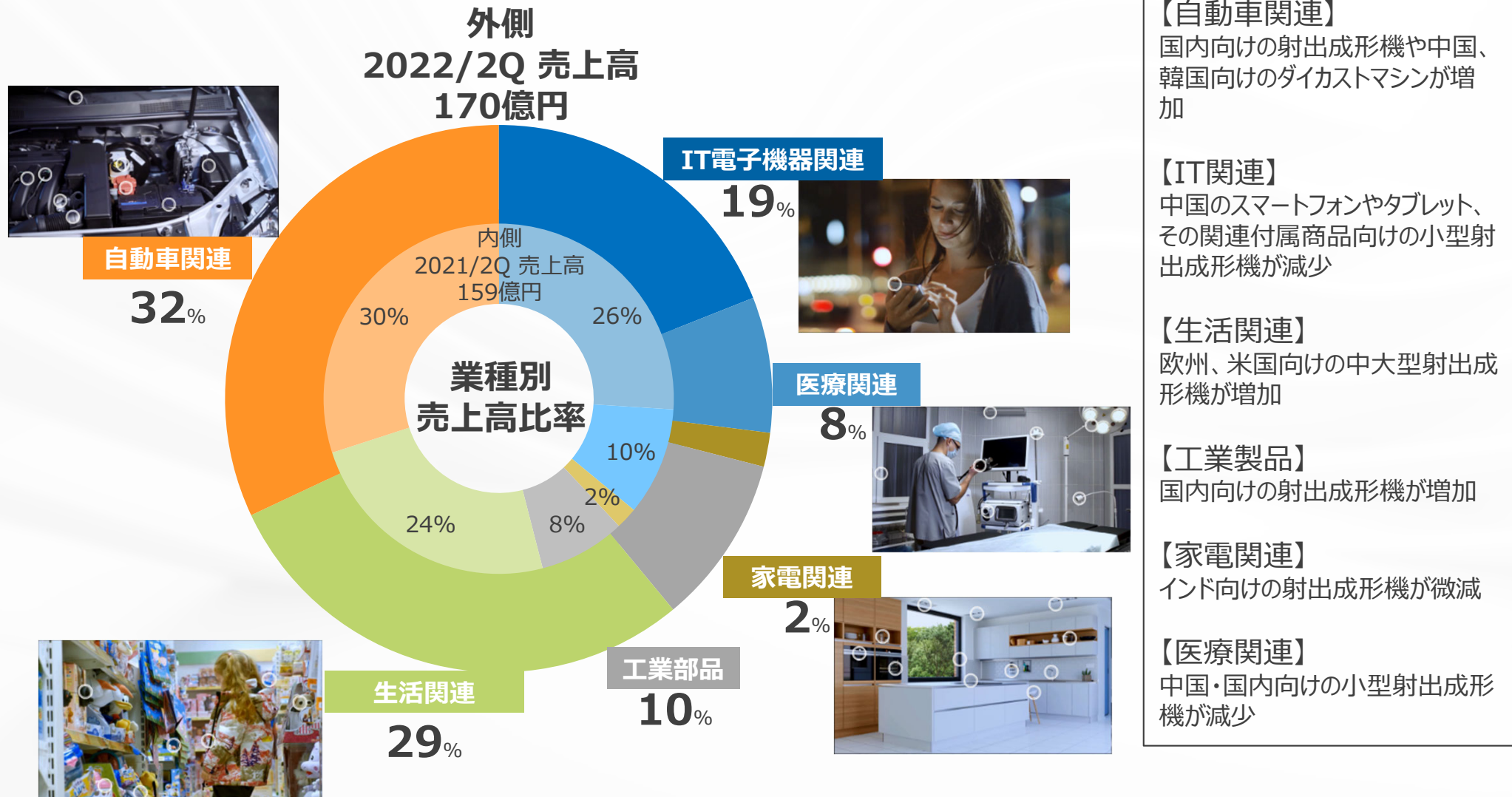
射出成形機 (単位:百万円)	2021/2Q 実績	構成比	2022/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	12,977	72%	14,322	80%	+1,345	+10.4%
(内、海外)	(9,560)	(74%)	(10,558)	(74%)	(+998)	(+10.4%)
売上高	12,616	79%	13,138	77%	+522	+4.1%
(内、海外)	(9,911)	(79%)	(9,715)	(74%)	(△196)	(△2.0%)
受注残高	8,951	73%	10,461	75%	+1,510	+16.9%

ダイカストマシン (単位:百万円)	2021/2Q 実績	構成比	2022/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	4,964	28%	3,682	20%	△1,282	△25.8%
(内、海外)	(3,590)	(72%)	(2,527)	(69%)	(△1,063)	(△29.6%)
売上高	3,260	21%	3,905	23%	+645	+19.8%
(内、海外)	(2,336)	(72%)	(2,865)	(73%)	(+529)	(+22.6%)
受注残高	3,302	27%	3,552	25%	+250	+7.6%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別売上高の動向

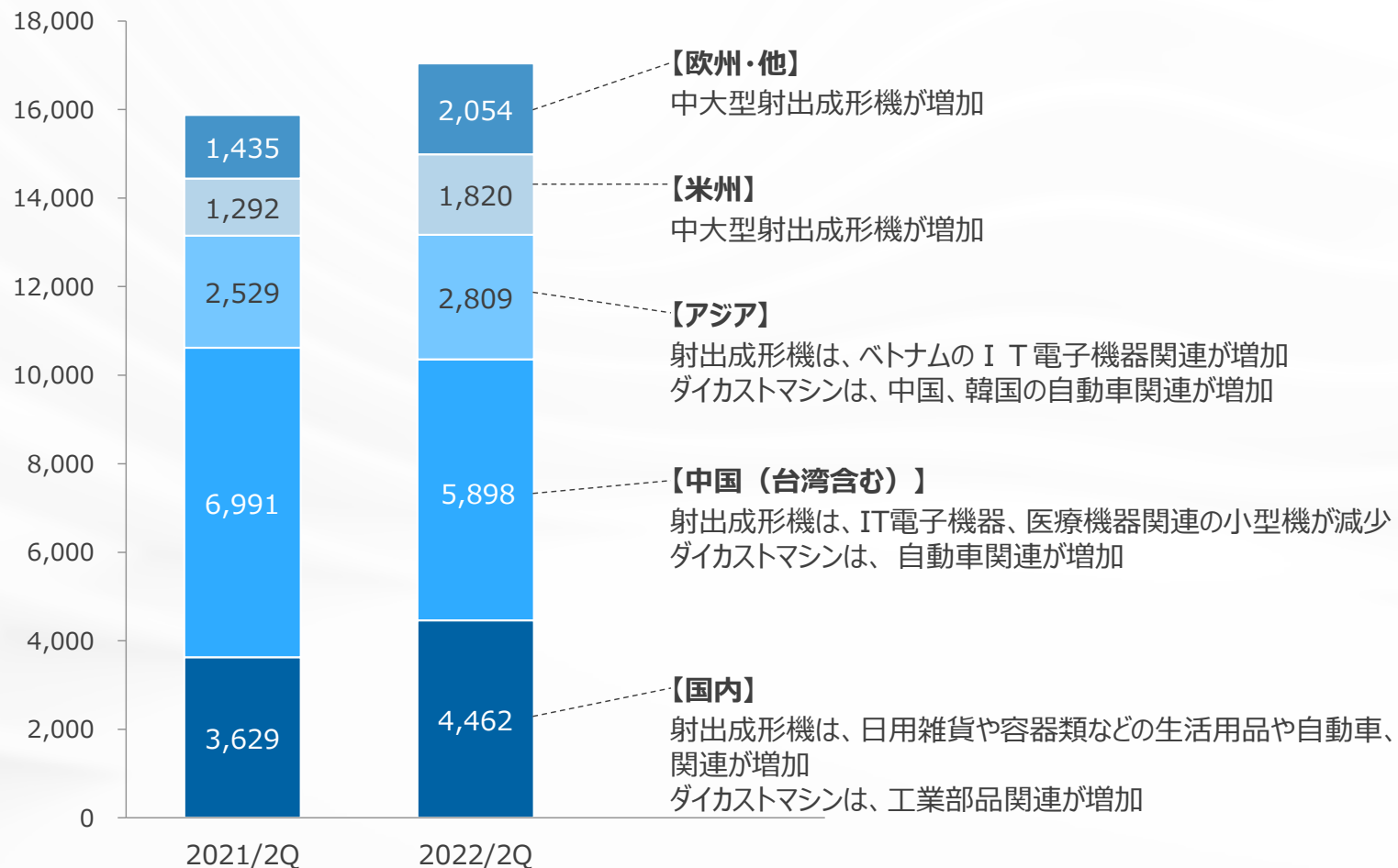
自動車および生活関連向けの射出成形機、ダイカストマシン共に堅調に推移
IT電子機器関連は中国の射出成形機の売上が減少



地域別売上高の動向

中国は減少したが、国内、アジア、米州、欧州他で増加

地域別売上高推移 (単位:百万円)



2023年3月期 通期業績予想

2023年3月期 通期の業績予想

2022年度の見通しは、市場の需要は堅調に推移すると予想されるが、部材調達環境は想定以上に悪化しており、更なる価格高騰が予想される

項目 (単位：百万円)	2021年度 実績	2022年度 予想	前期比 増減	前期比 増減率	2022年度 当初予想
受注高	36,137	34,250	△1,887	△5.2%	34,250
売上高	33,273	33,300	+27	+0.1%	33,500
営業利益	1,759	740	△1,019	△57.9%	1,850
営業利益率	5.3%	2.2%	△3.1P	—	5.5%
経常利益	1,970	960	△1,010	△51.3%	2,000
親会社株主に帰 属する当期純利 益	1,276	620	△656	△51.4%	1,300
1株当たり 当期純利益	62.18円	30.21円	△31.97円	△51.4%	63.37円
<参考> 為替レート (USD)	122円	140円	+18円	—	120円

製品別 受注高・売上高・受注残高予想

受注高は342億円（前期比△18億円）、売上高は333億円（前期比+1億円）
受注残高は140億円（前期比+9億円）を予想

射出成形機 (単位:百万円)	2021年度 実績	構成比	2022年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	26,648	74%	26,850	78%	+202	△0.8%
(内、海外)	(19,100)	(72%)	(19,450)	(72%)	(+350)	(△1.8%)
売上高	25,961	78%	26,000	78%	+39	△3.6%
(内、海外)	(19,296)	(74%)	(19,000)	(73%)	(△296)	(△1.5%)
受注残高	9,278	71%	10,128	72%	+850	+9.1%

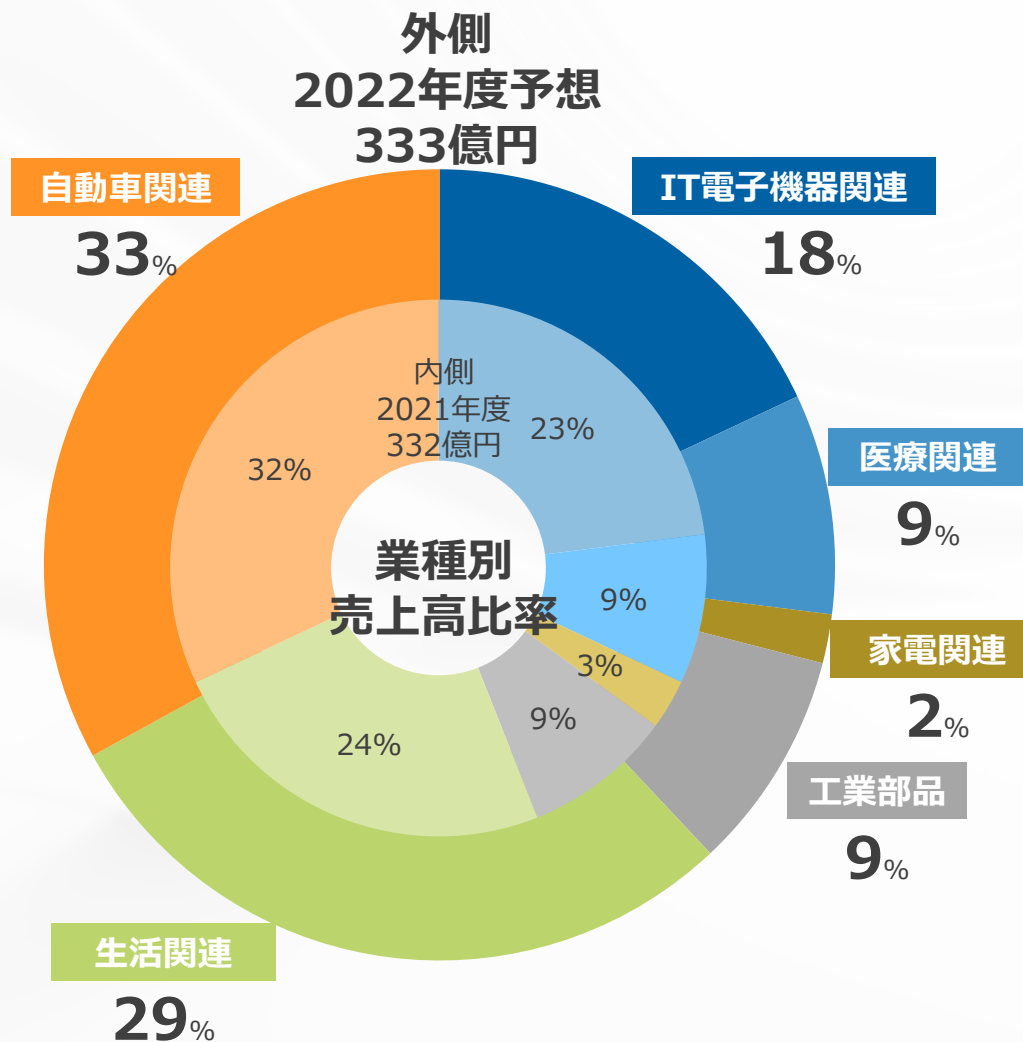
ダイカストマシン (単位:百万円)	2021年度 実績	構成比	2022年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	9,490	26%	7,400	22%	△2,090	△22.0%
(内、海外)	(7,033)	(74%)	(5,100)	(69%)	(△1,933)	(△27.5%)
売上高	7,312	22%	7,300	22%	△12	△0.2%
(内、海外)	(5,234)	(72%)	(5,200)	(71%)	(△34)	(△0.6%)
受注残高	3,774	29%	3,873	28%	+99	+2.6%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別・地域別 売上高予想

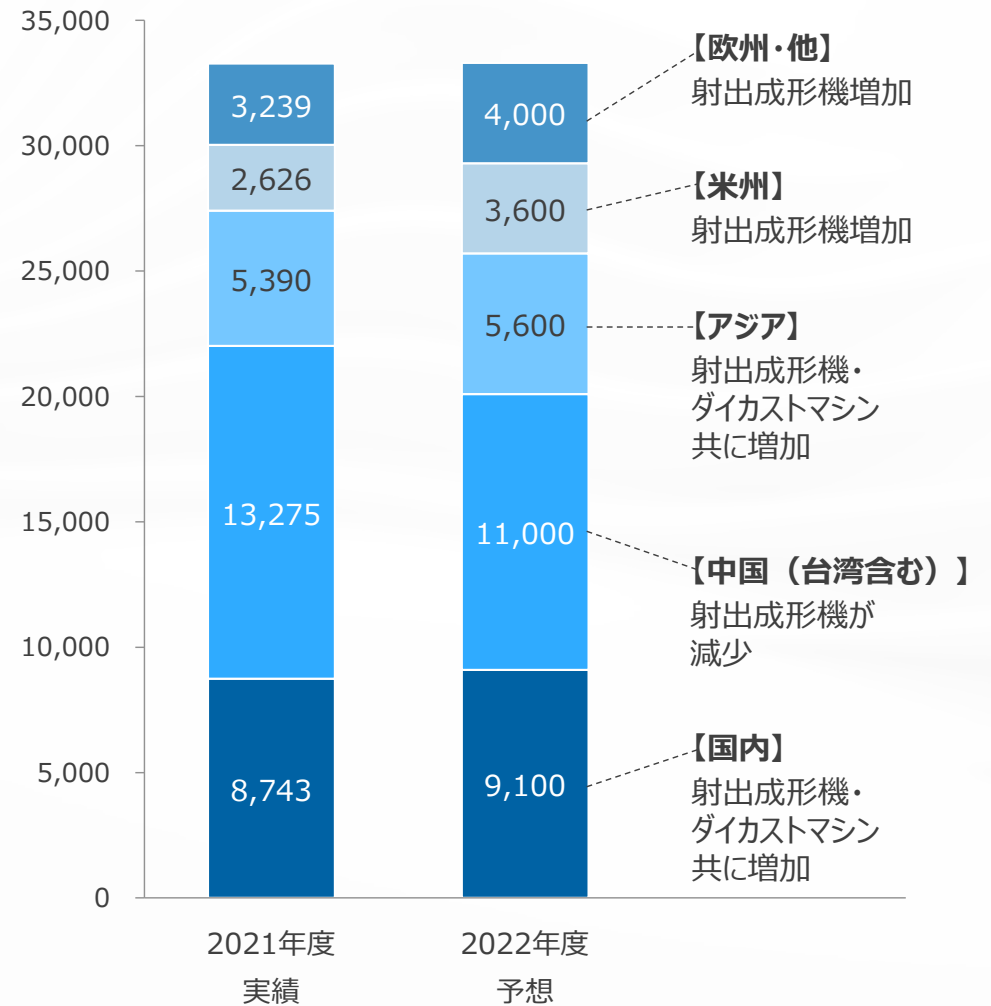
業種別では生活、自動車関連向けが増加、地域別では国内、米州、欧州他が増加する見込み
一方で、中国のIT電子機器関連は、減少する見込み

業種別売上高構成予想



地域別売上高予想

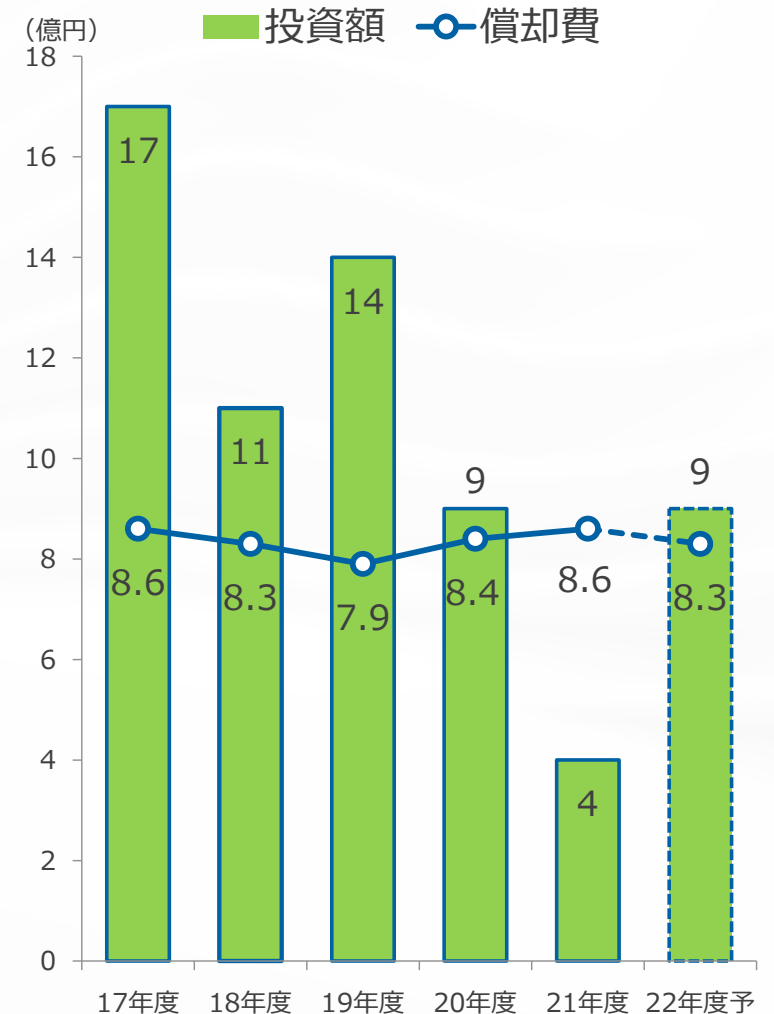
(単位:百万円)



2025年までの主な設備投資計画と減価償却費の推移

国内及び中国工場の生産設備を拡大

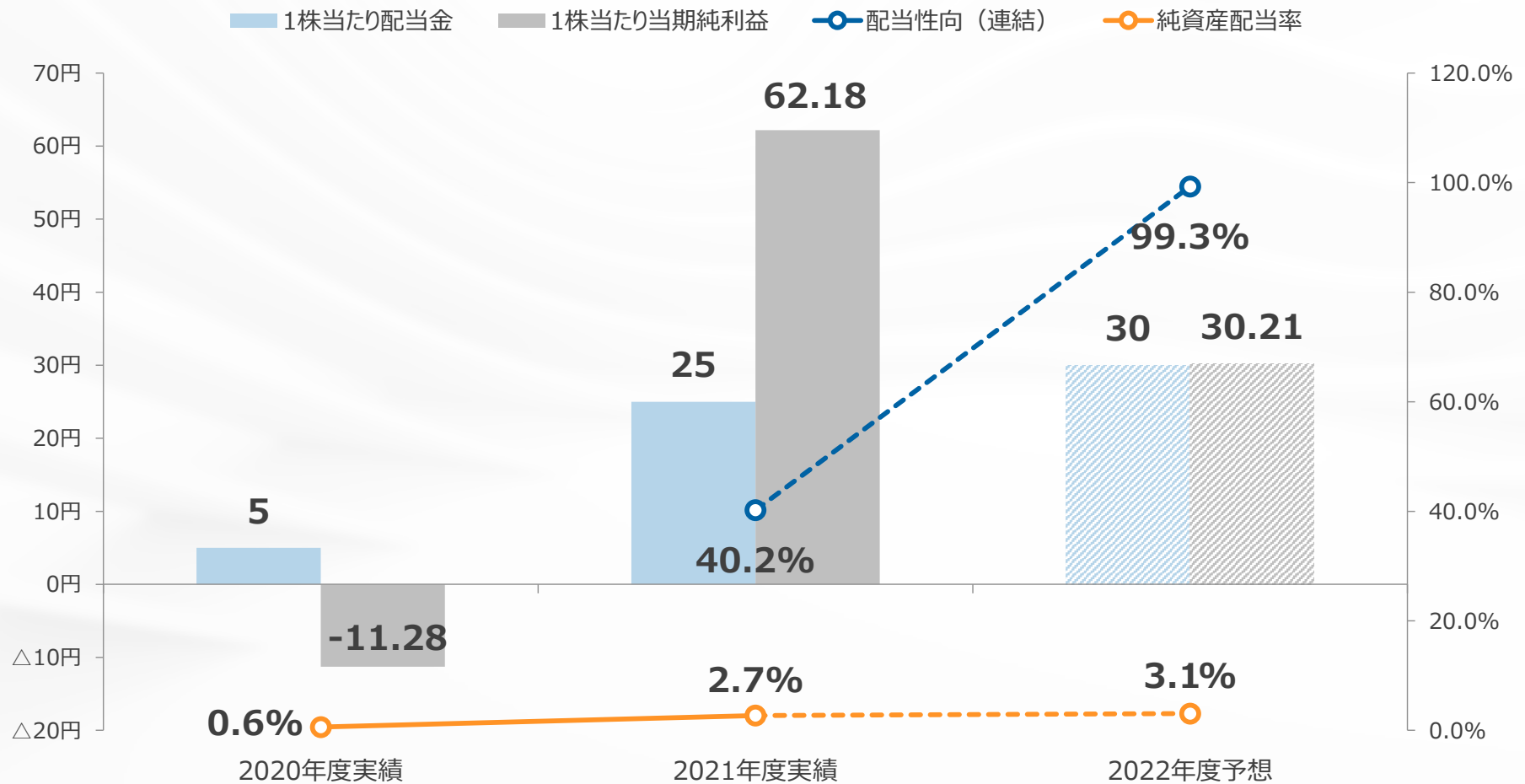
2025年までの主な生産設備投資計画	投資金額
国内明石工場	50億円
国内第2事業拠点	15
中大型組立工場増築 第Ⅱ期G17、18棟増設 (※第Ⅰ期G16棟は20/6 完成)	15
グループ会社サービス物流センター移転新築 (23.9完成稼働予定)	6
その他現有資産(有形・無形)維持・更新等	14
中国常熟工場(23.1完成稼働予定)	5億円
第3期組立工場(延べ床面積:約2,775㎡)	3
新事務所棟(延べ床面積:1,668㎡ 3階建て)	1
その他現有資産(有形・無形)維持・更新等	1
主な生産設備投資計画総額	55億円



株主還元について

2022年度の中間配当は1株につき15円を実施、年間配当は1株につき30円を予定
資本コストをより意識した経営とし、株主還元を強化

1株当たりの配当金・当期純利益、配当性向、純資産配当率



経営理念・経営方針と2023年度までの基本方針

経営理念

新たな価値創造を通じて社会に貢献し、
一人ひとりが輝けるより豊かな未来を実現する

経営方針

製品 - 顧客満足を追求する独自技術で安心・安全・価値ある製品をお届けする
顧客 - 顧客からベストパートナーとして選ばれる企業を目指す
社員 - 全社員が自信と誇りを持って働ける活力ある職場づくりに努める
社会 - 希望と未来が描ける持続可能な明るい社会の実現に貢献する

基本方針

Customers' Value Up

顧客が抱えるモノづくり領域の課題を解決し、
顧客の付加価値向上に貢献する

QCDSの改善

周辺領域への
取り組み

持続的成長に向けた 新たな取り組み

自社・顧客・社会が持続的に成長できる仕
組みと体制を整備する

A I 技術
新素材対応

SDGs
ESG経営

経営基盤の刷新と強化

経営管理基盤と人材育成の仕組みを再構
築しコーポレート・ガバナンス体制のさらなる
強化を進める

経営管理
体制の強化

人材育成制度
の構築

トピックス

トピックス①

射出成形機 展示会情報



K 2022

- ◆ 会 期 2022年10月19日（水）～26日（水）
- ◆ 会 場 デュッセルドルフ見本市会場

K SHOWとは？

世界No.1のプラスチック・ゴム産業展

63か国以上 約3,300の出展者が集結

最新製品・技術と未来志向を示す

- K SHOWにてTOYOの射出成形機を出展 -



・電動式射出成形機

Si-450-6S

出展機：Si-450-6S J750HE 60mm

コンセプト：容器高速成形

成形品：フードトレイ 2個

サイクルタイム：4.5秒

樹脂：PP

金型：FB Moulds (Italy)

取出機：CANPETELLA (Italy)

容器類などが成形できる中大型機をアピール

トピックス②－1

2022年4月26日付けで「サステナビリティ委員会」を設置

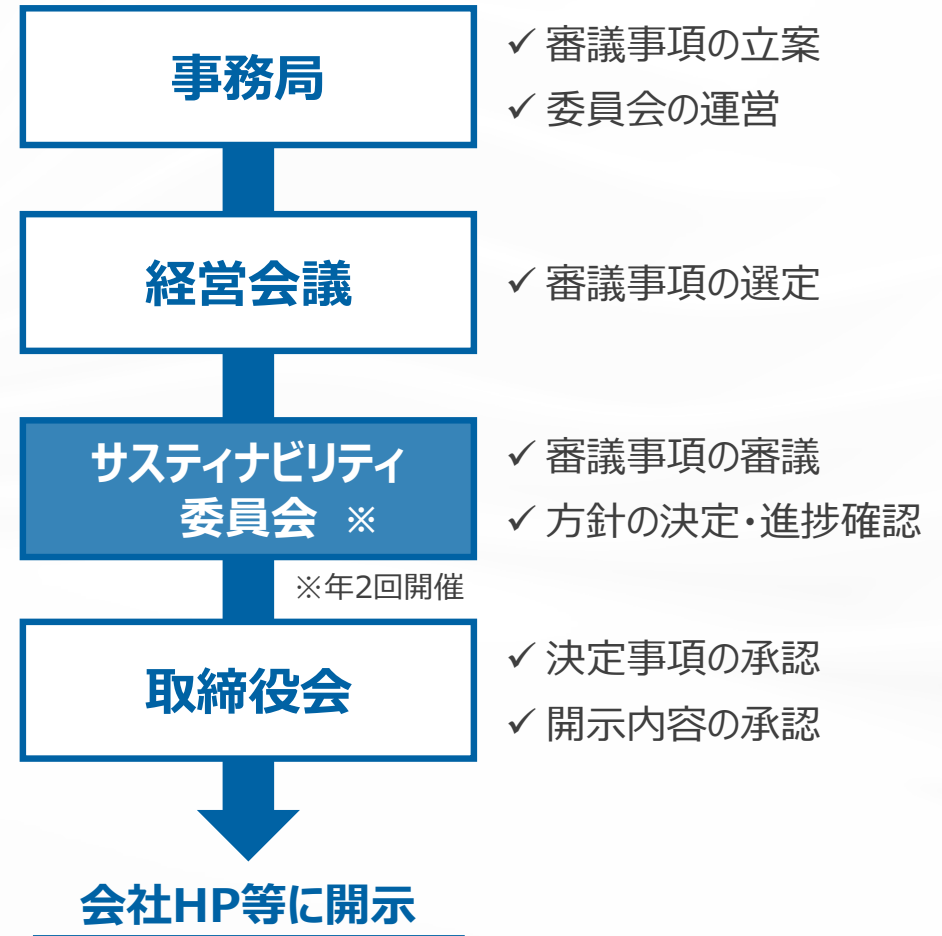
■ 構成メンバー

委員長	代表取締役社長
委員	取締役（社外取締役除く）、 執行役員
オブザーバー	社外取締役、常勤監査役、 社外監査役、社外専門家（適宜）
事務局	総務部

■ 主な議題

- サステナビリティの基本方針に関する事項
- 重点課題（マテリアリティ）の特定に関する事項
- 重点課題（マテリアリティ）に基づく目標設定・進捗管理
- サステナビリティ関連の情報開示に関する事項（気候関連の情報等）

■ 審議の流れ



トピックス②－2

当社は、以下の4項目を「重点課題（マテリアリティ）」として設定し、ESGの重要課題への対応を通じたサステナビリティへの取組みを推進

1

「形を作る（成形）」を通じて豊かな未来を実現する

- ✓ 安心・安全で、品質の高い「モノづくり」に貢献する
- ✓ 顧客の価値向上に貢献する（Customers' Value Up）

2

環境にやさしい行動をする

- ✓ 自社の環境への負荷を軽減する
- ✓ 環境負荷の低い製品を開発する
- ✓ カーボンニュートラルに取り組む

3

人を大切にする

- ✓ 従業員が働きやすく、働き甲斐のある環境を作る
- ✓ 地域社会との調和に努める
- ✓ 人が育つ仕組みを構築する
- ✓ 人権問題に目を配る
- ✓ 多様性を尊重する

4

健全な経営基盤を構築する

- ✓ 「基本と正道」を遵守する
- ✓ 透明性の高い企業経営を実践する
- ✓ 経営管理体制の高度化を図る

Appendix

貸借対照表 (B/S)

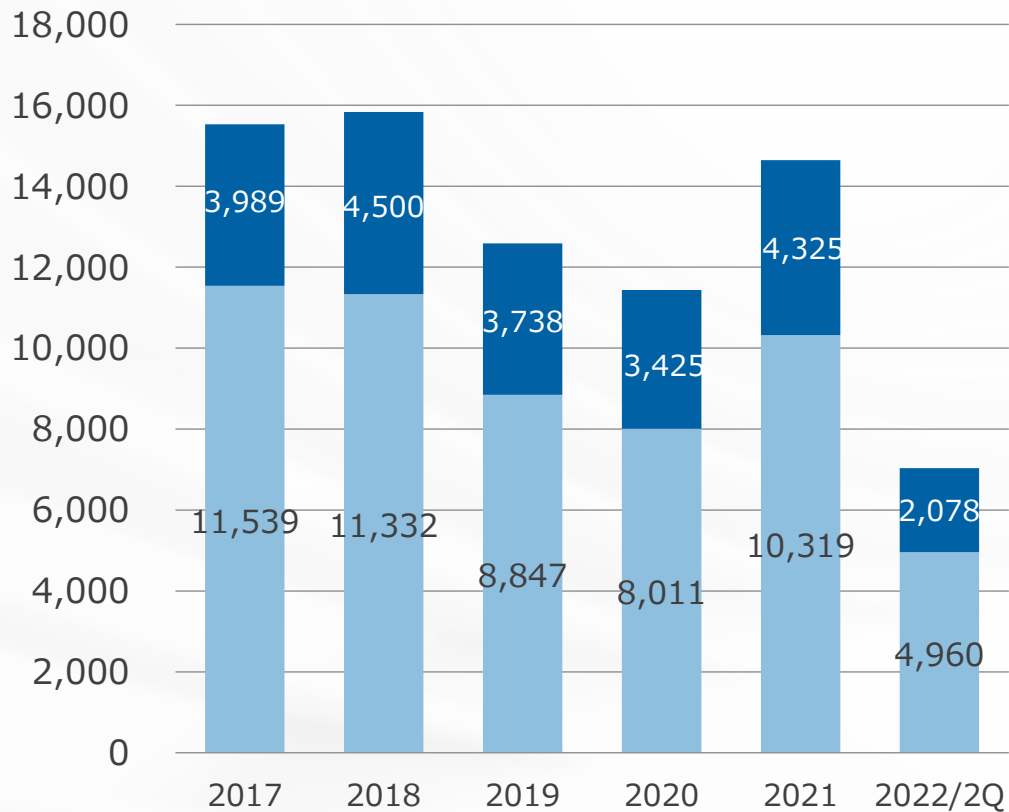
資産の部 (単位:百万円)	22/3末 実績	22/9末 実績	増減	コメント
流動資産	22,651	24,511	+1,860	現金及び預金が11億円増加したことや棚卸資産が9億円増加したこと等により、流動資産は18億円増加。
現金及び預金	7,143	8,255	+1,112	
受取手形及び売掛金	7,446	7,438	△8	
棚卸資産	6,621	7,563	+942	
固定資産	8,482	8,224	△258	繰延税金資産(固定)が1億円減少したことや減価償却が進んだこと等により、固定資産は2億円減少。
有形固定資産	6,561	6,508	△53	
無形固定資産	507	487	△20	
投資その他資産	1,412	1,228	△184	
資産合計	31,133	32,736	+1,603	

負債・純資産の部 (単位:百万円)	22/3末 実績	22/9末 実績	増減	コメント
負債合計	11,506	12,410	+904	買掛金等の仕入債務が7億円増加したこと等により、負債合計は9億円増加。
支払手形及び買掛金	4,896	5,648	+752	
有利子負債残高	1,760	1,660	△100	
純資産合計	19,627	20,325	+698	親会社株主に帰属する四半期純利益に係る利益剰余金が増加したことにより、6億円増加。自己資本比率は前期62.1%から61.0%。
負債純資産合計	31,133	32,736	+1,603	

事業環境の概要

業界の射出成形機とダイカストマシンの出荷台数

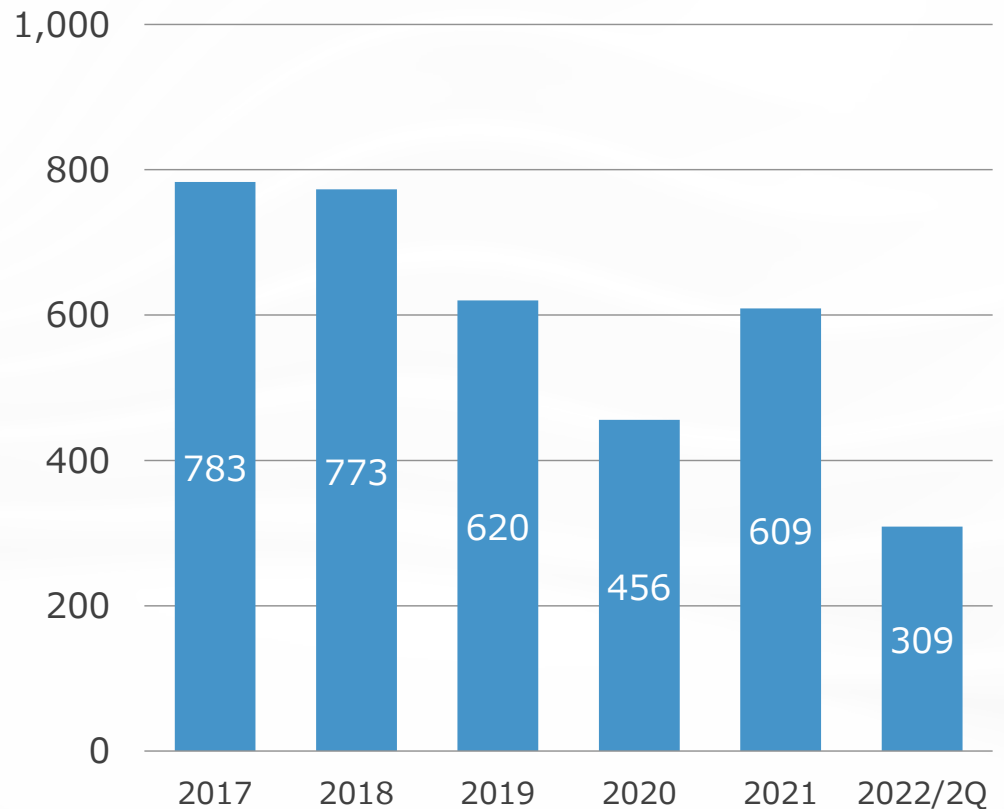
射出成形機出荷台数



■ 射出成形機200t未満 ■ 射出成形機200t以上

出典：日本産業機械工業会

ダイカストマシン出荷台数



■ ダイカストマシン

出典：日本ダイカストマシン工業会

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

TOYO

Customers' Value Up

～お客さまの価値向上をめざす～

連絡先 東洋機械金属株式会社 経営企画室
TEL. (078) 942-2345 (代表)
FAX. (078) 943-7275
URL. <http://www.toyo-mm.co.jp>